

クラゲのカンタンな飼い方

独立行政法人 水産大学校 生物生産学科
教授 上野俊士郎

海に漂っているクラゲを自宅で飼育することは難しくありません。チャレンジしてみませんか？ クラゲの簡単な飼育法を紹介します。

1 ステップ：採集

4・5月の下関周辺の海にはクラゲが多数います。海の穏やかな日に、漁港などの岸壁からだとクラゲを見つけやすく、採集しやすいです。バケツや柄杓などでクラゲを水ごと採集し、空気を入れないようにパック容器などに密閉して持ち帰りましょう。

2 ステップ：飼育容器

ガラスコップや小型のプラスチック水槽で充分。通気やろ過装置はいりません。飼育容器は2週間ごとに、きれいに洗ったものに交換を。

3 ステップ：飼育水

採集時に飼育用に海水も採集しましょう。ペットボトルやプラスチック容器に入れて、海水は室温で長期保存が可能です。1～3日に一度、飼育水の半分を交換。飼育水が白く濁ったら、すぐに全飼育水と容器を交換。

4 ステップ：飼育水温

水温は、自然海水と近いが、少し冷たいほうがよいです。急激な水温変化がないように。また、太陽光線を当てる必要はありません。

5 ステップ：餌

熱帯魚店などで売られているアルテミアの休眠卵（ブラインシュリンプのエッグ）が一番。ふ化後一日以内のものが栄養価が高いため、30分以内に食べ尽くす量を毎日少しずつふ化させましょう。スポイドを使うと便利です。

しかし、アルテミアを食べないクラゲもいます。

以上の5つのポイントをふまえて、クラゲ飼育にチャレンジしてください。困ったときは次のメールアドレスにお尋ね下さい。 uenos@fish-u.ac.jp

